滿洲日報

列車發着

金州 發着　三十里堡 發着　普蘭店 發着　後 [illegible]

大石橋 發着　蓋平 發着　海城 發着　前 [illegible]

奉天 發着　石臺子 發着　新臺子 發　[illegible]

開原 發着　鐵嶺 發着　新臺子 發　前 後 [illegible]

遼陽 發着　鞍山站 發着　海城 發　[illegible]

得利寺 發着　瓦房店 發着　普蘭店 發　[illegible]

大連旅順間　下り　大連發 前一一時〇〇分 後八時〇〇分　大連着 [illegible]

旅順 發前　島嶺子 着發　營城子 發着　[illegible]

營口發 前　大石橋 着　蘇家屯 發　旗順線 下り 後 [illegible]

注意　一 乘車驛より南關嶺昌圖間各驛より旅順線各驛行のもの及同樣各驛行の者

本紙代價 一枚 四錢　一ケ月前金 八十錢　半ケ年全 四圓八十錢

廣告料　五號活字十九字詰 一行一回 二十錢　四號活字十一字詰 一行一回 三十錢　二號活字九字詰 一行一回 四十錢

本報價目　一張 四分　一月 八角　半年 四元八角

滿國營口中盛街 電話二九番　滿洲日報社

特別廣告

資本金貳千四百萬圓
積立金一千壹百五拾萬圓

本支店出張所
橫濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫動 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 漢口 天津
北京 大連 旅順 奉天 遼陽
芝罘 鐵嶺 安東縣

橫濱正金銀行牛莊支店
（電話十番支配人室）（百八番事務室）

日本郵船株式會社
流船出帆廣告
營口丸 十六日午前九時 太沽、芝罘、門司神戸行
山東丸 二十二日 太沽芝罘門司神戸行

大連出帆
橫濱丸 廿三日午后二時 門司神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ 未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店 旗昌洋行（電話二六番）

大阪商船株式會社
營口汽船出帆廣告
盛航丸 八月十六日 門司行
代理店 營口公園地檳 ブラジュ兄弟商會 遠來洋行（電話二十三番）

流船出帆廣告
●日勝丸 十六日廈門行
●中國丸 十七日門司神戸行
松茂洋行船舶部 海岸東稅關西 電話（五二）（五七）

朝日ビール、石炭、白鹿（日本酒）、白糖、木材等類各貨物美價廉如蒙各商光顧諸駕臨
松茂洋行商品部（電話五二番）

正隆銀行
營業項目
一定期預金（長期存欵） 三ケ月 五分　六ケ月 按年五分五厘　一ケ年 六分
一當座預金（暫存欵） 按年 四分五厘　日歩 一錢二厘三毛
一小口當座預金（零碎暫存欵） 按年五分一厘　日歩一錢四厘
一送金爲換取組先（滙兌） 東京、橫濱、大阪、神戸、長崎、上海、天津、橫濱正金銀行本支店
一貸附金（放利） 一般財産並に土地建物の管理を引受くると不動産抵當貸附金の委託を引受くること
一附帶ノ業務
軍政署認可
本行受入の幣は軍票及正金一覽拂手形は勿論墨銀小銀貨に至る迄時々御都合宜敷樣可相働候尚近々の內過爐銀の取引をも開始可致候
營口西北街第二百三十號（日本人會西隣） 支配人 深水十八（電話二百十番）

宅洋行
啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布商花標布東洋紋緞子絨布手巾花巾洋胰火柴鐘表等類價值格克己並且貨眞價實以致敝行名譽日增承蒙官許在牛家屯設立鐵道邊運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽欵待周到俾可面商切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧曷勝榮幸之至
總司理人 田中賴之助謹白
開設老爺閣街同盛德院內 電話（店八三番）（住所五五番）

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉絲布疋火柴洋麵糖煤紙貨發行並匯兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜彙置有輪船艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是有
總司理人 葉亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油榨生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運滊船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各莊北客經理有年誠信相孚遐邇知之 正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

仁裕號
保裝運各幇火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此僅
營口西大廟街路北營乙第十三號

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞子紗闌絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家綿自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
東北街 西義順棧內 櫃（電話九十五番） 家（電話九十八番）

日本官造紙煙專售告白
本號現開設在大連、安東縣、營口、遼陽、奉天、鐵嶺、等處專售日本官造紙煙 朝日（紅旭牌）大和（雲花牌）敷島（蓬島牌）媢嫣唎（軍旗牌）隆佑來福（雙仙鶴牌）利利（百合花牌）捷利（櫻花牌）斯達（星象牌）哥耳天巴德（蝙蝠牌）等九種及煙絲各樣
東營口西北街（舊代代木公司） 日本官煙營口專賣處

SP 糸平公司
本舗在大阪開業以來一百餘年今特在本埠開設支店所有發賣物品皆美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布類列下 東洋各色絨布毯子各式被面各色布疋各種綿布 其他一切織物概行發賣並特約販賣 正日光 皮酒價及各樣雜貨尤廉減特此廣告
朝日ビール特約大販賣 營口元神廟街神廟邊路西（電話百九十二號）

志岐組
本組開設營口綏定門外專辦架造房屋及做工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價值格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組名譽其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸 本主人謹白

三井 電話 第六十六號 第九十一号
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

倉庫部 經理
○發售新到洋白糖
今回倉庫所在地（元堆子精搗場ノ隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
○明治火險公司（電話百二十八号）
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議
○發售日本白米
○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨叢集資本浩繁有保險以維持之可以有特無恐法至良意至美也小行經理明治火險公司已歷多年幸蒙中外所信用前有 王鹿芹 郭漁笙 朱斐章 先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦 諸貴商所樂聞乎如蒙 賜顧請逕至大德亭內面議可也
三井洋行啓

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數客惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即殷實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉 僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本火險公司保險各事 僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克己諸公賜顧請 駕臨大德亭內面議不誤
王鹿芹 朱斐章 郭漁笙 全啓

洋行 電話 第六十六号 第九十一号

●印判彫刻 ●ゴム印 ●活版名刺 ●各色印肉インキ 附屬品一式
各位の御引立に依り日に月に隆盛に趣き候段奉謝候今回技術精好なる職工數名雇入着候に付分店設立と同時に一層勤勉を以て期日正確價格低廉貴需に應ず可く候間多少に不拘御下命被下度候 御報知次第店員參上仕候
刻字舖 營口永世街三十七号 尾崎洋行
奉天小西關大二七八号南側 尾崎洋行分店

賃銀

自＼至	河北	西稅關	東稅關
牛家屯	三十錢	三十錢	二十錢
東稅關	二十錢	二十錢	
西稅關	十錢		

本公司は牛家屯東稅關西稅關河北間に小蒸滊船ホチン號を往復せしめ牛家屯河北停車場發着列車の連絡を取り旅客の運搬をなす
本公司は牛家屯營口河北間貨物の運搬及曳船の御用の節は電話二百三十六番へ御一報煩し度候
本公司乘船場は牛家屯停車場前棧橋河北停車場前棧橋東稅關棧橋西稅關東部にあり切符發賣所は各乘船場及船中にて發賣す
回數切符は特に割引可致候

列車連絡時間表（日本時間）
西稅關午前五時發 牛家屯六時三十五分發列車に連絡
全午前六時發 河北七時發列車に連絡す
東稅關午後七時四十分發 牛家屯發九時三十五分の列車に連絡
牛家屯午前九時發 牛家屯九時十分着の旅客を迎ふ
牛家屯午後四時十分發 營口牛家屯間通勤諸士の營口歸りの便を計る
河北午後六時發 河北五時四十分の旅客を迎ふ

東省巡航公司 營口元神廟街第五十五號 電話番號二百三十六番

洋鐵鋼
麥粉、白糖、白米、玻璃板、亞鉛板、鐵線、洋釘類、建築土工用具及船具類 其他諸機械ノ製作修繕
安東縣市場通七丁目 合資會社 秋田商會支店
安東縣東大街 合資會社 秋田商會支店

精乳軒牛乳販賣所
今般其筋の許可を得左の處に於て精良牛乳販賣仕候間多少に拘らず御試用の程奉願候
元神廟街二四九（電話三番）

周 鐵道遼河 裕和盛運輸局（電話八十一号）
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本号向在日本長崎城設數十年開店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟台營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東淸鐵道運輸局代客裝運貨各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人 周鶴雲謹
運輸部主任 高濱麟太郎啓

徽州 怡昌祥茶號
本號專在徽州黃山採辦三十六峰雲霧仙種名茶色香味與衆不同加工棟焙重資徽郡珠蘭不惜資本以圖久遠凡貴商大寶號賜顧者請認明本号黃山圖記庶不致誤
怡昌祥主人謹白寓營口恆利德

志岐組木料棧 材料出售
啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克己凡中外士商光面議顧請到本棧

上海 中井洋行 專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售 貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也 中井洋行

丸重轉運行
啓者本行前經關東總督之特准開辦東淸鐵道轉運行專代各裝運貨物安全速達價亦格外公道以致名聲日增今又各車站設均分莊運輸決無誤如蒙貴商光顧請面是議荷
營口西北街（電話十八號）
既設分局 牛家屯車站（電話四十六號） 遼陽、奉天、昌圖各車站

關東玻璃公司
本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉光顧者請至 營口永世街 第五號門牌便是

●銃砲火藥販賣業
本行蒙官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等件物美價廉需整發售如蒙中外紳商賜顧者請到本行面議可也
官許商 秀淸洋行 鐵嶺東門大街

齒科治療廣告
啓者本醫士現將已前治療室從新改築寬敞幽雅俾期與治患之人一般便利而且應症活治療妥善有齒牙之患者幸早惠臨試驗方知本醫士之言不謬也
齒科醫士 德平盛剛 遼陽西街六十九號

遼陽州官設醫院告條
一凡請診治到院掛號須在上午自八點鐘起至十一點鐘止藥資例取銀隨意
一若有願免藥資者須在下午到院掛號自一點鐘起至三點鐘止
一特邀醫官於其家者另繳規費一元以上且在下午三點鐘以後
一欲求診斷證明諸單及處方箋另付規費
一每逢慶節及禮拜日一概休辦

牙大夫學士兒島醫院
DENTIST. Dr. S. KOJIMA.
大日本齒科醫會部長 日本齒科學會評議員 ●營口元神廟街●
告白
啓者本院主從來於森醫院齒牙科治從事近時感其狹隘因別卜居署院新諸器械完備兼遺專足於救治牙疾之術齲齒金銀充塡補缺落齒補入妙技矣齒牙疾患者希咀嚼必要欲皓齒金光燦爛美良者速來乃知本院主神秘妙技焉執事 ●來訪者兒島二字要注意 ●語曰齒全壽長

雜報

●滿鐵會社命令書

南滿鐵道會社の事業及定欵の細目を掲げたる命令書は政府より同鐵道設立委員會に交附せられたる事は既報の如くなるが其要領は大略左の如くなりと

（一）事業の範圍は一、鐵道運輸二、礦山の開掘三、沿道礦山の開掘及販賣四、水運業（航海）五、倉庫業

（二）資本總額を二億圓と定め、政府出資の鐵道、炭礦等一切の財產を一億圓と定め餘の一億圓は日淸兩國より株によりて募集すること

（三）一般募集株には六朱配當の先優權を與ふること

（四）設立登記の日より向ふ十ヶ年間六朱の補給利子を付すること

（五）會社は政府の許可を得て會社の全財產又は一部分の財產を提供して社債を募集し得ること

（六）政府持株に對し配當金ある塲合には政府持株は一般募集拂込株金と同樣の價格と見做して配當すべきこと

（七）鐵道軌道は標準式則ち四呎八吋半式を採用すべきこと

（八）會社の株式は日淸兩國人以外には讓與又は賣渡を禁ずること

（九）其他政府監督取締の規定及關東都督府との關係及守備軍との關係

其他副業として前記第一項に掲げたる各事業の外、鐵道附屬地の經營、委托販賣事業、奉天安東縣間、奉天新民屯間及長春吉林間鐵道の建設に關し淸國に特別の便宜を與ふる等の條項もありといふ又株式は一株百圓に內定せられ居る由にて委員會は命令書に基き會社設立の準備に着手すといふ

●新戰艦御親閲　天皇陛下には去る四日横須賀に到着せる新造戰艦鹿島並に十五日仝港到着の筈なりし戰艦香取兩艦御親閲の爲め本月下旬を以て横須賀軍港に行幸あらせらるべき思召を以て目下夫々御詮議中なりと洩れ承る

●行賞公債の發行　政府は八月二日付を以て論功行賞に充つべき公債總額一億圓を假債券にて發行し全部を大藏省預金部に引受けしめたり而して陸海軍兩省に於ては同日中央金庫へ支拂命令を發し之を以て其全額を買受けたりと云ふ期て陸軍海軍の兩省よりは各郵便爲替貯金管理所へ保管通帳を發わすべく照會したるにより同所にては夫々行賞金の受領者名及び其金額を記入したる保管通帳數千部を製作し近々兩省へ引渡すべく又利率は年五分にて發行價格は額面百圓に對し九十五圓なる由なり

●長吉鐵道着手期　長春吉林間の鐵道は奉新鐵道と同樣日淸兩國共同資本の下に經營され其監理の方法等も奉新鐵道と同樣なるが同鐵道の工事費は約千萬圓は差當り我國より支出すべき方針にて政府は便宜上右の費用を南滿鐵道より支出せしめ工事も同會社をして之に當らしむる筈なるが工事へ着手は林公使と淸國政府と近々の內交涉決定の上直ちに測量に取掛り本年結氷前迄に結了せしめ來年開氷早々工事に着手せしむる筈なりと云ふ

●人口調査着手　政府は內閣統計局に命じ國勢調査の一端として三十八年十月を期し本邦人口數を調査する目的にて之れに關する經費二百萬圓を第十九帝國議會の協賛を經て支出する事に決定し居たるも偶〻日露戰役の妨ぐる處となり右調査は一旦中止し居たるが愈々明四十年十月を期し右の人口調査に着手する筈にて其調査方法は主として市町村吏、巡查、小學敎員及び區長等に命じ一人の調査範圍を百戸以內に限り二日間に調査せしめて直に內閣統計局へ送附する事になり居れりと

●帝室の滿鐵出資　某當局者の談話に依れば南滿洲鐵道の定欵確定後株式募集の場合には帝室にかせられても民間の應募御奬勵の爲めと一は同會社より前途の利益確實なる御株を御料財產中に加へられんとを願出づる筈なるとにより其折には多分御裁納遊ばさるならんと云ふ

●撫順炭坑の設備　南滿洲鐵道會社に於て經營すべき撫順炭は最初主として滿洲鐵道又は日韓國鐵道の燃料に供し場合に依ては西比利亞鐵道にも供給するに至るべきが當分は內地に輸送して猥に內地炭を壓倒するが如きことなかるべく而して其の開掘の設備としては最近式の機械を据付け約二百万圓の經費を投ずる筈なりと

●露國使館陞格　此程露國政府より大使交換の議を我政府に申込み來りたるは前号の紙上に記載せる所なるが此の態度の一變は新外相イスヴヲルスキー氏の日本に對する親和政策の一端か現はれしものと推測し得べく我政府に於ても之に賛同するを躊躇せさるへしと云ふ

●頸飾章と大勳位　日露戰役論功行賞の結果として大勳位伊藤統監、山縣、大山兩元帥に對しては特に聖旨を以て頸飾章加授の御沙汰あらせらるへく又德大寺侍從長兼內大臣は戰役中　陛下に常侍輔弼の責に膺り松方伯は戰時財政の事に參し且日本赤十字社救護事業に對し井上伯は閣外に在りて戰時財政の事に參與し孰れも功績顯著なるにより論功行賞發表の際には思召を以て特に大勳位に叙し菊花大授章を授けらるへしと傳ふるものあり

●東宮に牝鹿を献す　伊藤統監は此程歸朝の勅使井上侍從武官に托して朝鮮產牝鹿一頭を皇太子殿下に献上せり

●輪卒と金鵄勳章　日露戰役に當り補助輪卒として出征したるもの約二十万人あり下士以下兵卒の行賞を終り次第引續き發表ある由なるか是等の補助輪卒にありても殊勳を奏し金鵄勳章を授與せらるゝもの數百人の多きに上ると云ふ

●貴婦人の叙勳　日露戰役中愛國婦人會或は日本赤十字社篤志看護婦人會其他の事業に盡瘁して功勞ありたる岩倉公爵夫人、鍋嶋侯爵夫人、大山侯爵夫人其他の貴婦人に對しては特に寶冠章を叙賜せらるへしとの說あり

●戰利艦の入港　戰利艦ノーウヰツク去る六日午後二時三十分函館へ無事入港せるが同艦は右舷機關部に大破損あり左舷二個所に爆破の跡を止め其他砲彈の痕跡數多ありと

●淸商莫斯科に入込む　露國新聞の報に依るに近頃支那商人の莫斯科に入り込むもの益〻多く其販賣するものは西藏皮、磚茶、絹織物等にして販路日々に擴張すと

●外國品陳列館起工　東京勸業博覧會出陳の外國商品は將來の勸業協會陳列館を以て代用し出品者よりは之か代價として賃貸料を支拂ふことに協議纏りしを以て愈々一昨三日より不忍池畔舊馬見所跡に該陳列館の建築工事を起すことゝなれりといふ

●露船門浦航路　露國滊船會社に於ては今回浦塩門司間に直航々路開始の計畫を立て過船來調査中の所愈よ本月中旬頃を以て開始の運びに至るへく該滊船は五千噸にして十五海里の速力を有せりと

●遼陽州官設銀行の金融情態

由來遼陽淸人間の金融機關は私立銀行樣の錢舖數戸主となり金融の衝となる爲め紙票を發しおるが故に遼陽界隈の諸般商取引は一に此紙票に據りて賣買に運用され遼陽相場として同地方に限る或る單位の下に日々變動高低定まりなく殆と其相場信賴するに堪へさるものなる由なるが、同地は世人の知る如く商業地にあらす又工業地にもあらさる土地柄として唯農產物資の集散に適するのみなれは收穫期後は市中の景氣活潑なるも其以前の昨今は商業萎靡として振はす是等の原因の支配する爲め金融に必迫を告げ往々設立銀行樣の錢舖は現金取付の運命に遭ひ破產の厄難に罹るなと珍らしからす然るに錢舖破產衆民の恐慌を招くは勿論之れに關連して總ての上に相場を破壞し皈一する所を知らさる迄に其の渦中に葬むらるゝに至り其相場の回復する事容易にあらさるより斯の如き弊なからしめん爲め錢舖の中堅に備ふる州官設銀行（純然たる官設にあらさる）遼陽知州か責任を負ひ保證の位置に立つものは此間に立ち金融の統一と劃策とを謀り經濟界の安穩を保ち居りしに前說する如く農產物の未收穫期に屬し金融の必迫甚たしきを加へ二三の錢舖は一時倒產するの止むを得さる傾向を示したる所是れ救濟の任に當るへき官設銀行は百方苦心方法を講したるも畫餠に屬したる折柄不圖或る淸國官憲より有馬組出張所海南右門氏に眞情を打明け正金銀行より一時借入の依囑をなしたるに同氏も其眞相を知得たる以上は一臂の力を添ゆへしとて過般營口の正金支店に掛合ひ種々斡旋の効空しからて七万圓の借入約定整ひたる由なるが是が爲め金融に活氣を帶ひ遼陽に於ける淸國官憲ば正金銀行と海南氏に感謝の意を表しおれりと聞く果して此擧事實なりとせは啻に一銀行の興敗に關してのみにあらす日淸和合の上に光彩を放ちたる近頃の美事なりと稱すへく尙正金の勇氣と大なる襟度及海南氏の盡力幹旋の効は沒すへからさる事績なりとすへし（遼陽通信の一節）

營口八景其二（遼河の秋月）

●騎兵二十聯隊軍旗祭　去る十二日は在遼陽騎兵二十聯隊の軍旗拜受の一週年紀念日に相當するを以て盛大なる祝祭は擧行せられたり擧式は最も壯嚴靜肅の間に終り次で餘興は彩旗翻飜たる仝練兵場に行はれ勇壯なる跨乘競馬を最初とし騎藝旗拾假裝武術野菜取競爭等の滑稽なる又壯烈なる戲劇悅たる樂隊の吹奏の間に觀覽者の耳目を集中し次で同聯隊長安田大佐の先導にて日淸の來賓一同は兵營の中庭なる宴會場に入り整然たる食卓に着席するや安田聯隊長は同聯隊軍旗祭の由來及同聯隊の位置其他に就て簡單に演舌し次に兒島聯隊長は來賓軍人一同を代表して答辭を述べ且杯を揚げて天皇陛下の萬歲を三唱し宮崎參謀長は立ちて同聯隊の萬歲を唱へられ酒宴は開始せられたり一同各自祝盃を擧げ歡聲の內に閉會せしは午後の四時なりき

●ロセツタ丸觀光客（遼陽）　東京大阪兩朝日新聞社の計畫に成るロセツタ號の觀光客三百六十餘名を載せたる列車は豫定の如く去る十四日午前夜半遼陽停車場に着せり遼陽居留有志者は之を停車場に迎へたりしか夜半に屬するを以て觀光者は其儘列車內に就眠し五時の起床に次いて朝餐の了はるを竢ち有志者一同城內爐灰山公園に一行を迎へ茶菓の饗應をなし席上金子大尉の遼陽激戰談あり終りて一行は三々伍々市中を見物し遂に南山の古戰場を吊ふへく正午發車金州に向ひたりといふ

●昨今の病患種類　同胞の所謂滿洲第二年は風土及ひ氣候の異なる爲め特種の風土病杯に罹るもの多からんと思料せしに刀圭社界の言に依れは事實は左にあらずして當地固有の風土病たる滿洲熱に罹るものは至て尠なしと云ふ而して居留民中目下の患者は人口に比すれは大したる事なく其の種類は風引胃腸病花柳病尤も多しと云ふ今尤も注意すへき衞生事項を云へは一生水を呑む事二果實類の暴食三寢冷へ四不潔の女子に接する事等が尤も病因を作る動機なりと各自注意を要す

●婦人會の艦隊慰問　豫記の如く營口佛敎婦人會は午前八時將校園への寄贈品を携へ稅關小蒸汽船にて龍田艦に至りしも艦長上陸中なりしを以て海軍大尉吉村太五郎氏に面して艦隊乘組員一同に鄭重なる慰問を述へ目錄及び寄贈品を贈呈し夫より艦內の拜觀を爲し歸途又水雷驅逐艦電を見舞ひ十時頃歸宅せるか同日は篠突く大雨に拘らす雨を冒して訪問せるは艦隊員の均しく感謝せる所なりしといふ因に同日の慰問者は松井增田兩夫人外七八名なり

●中村支店長の歸朝　久しく當營口正金銀行支店長として日本人會々長として在留邦民と最も密接の關係を有したる中村錠太郎氏は豫て本店より歸朝の命に接し居りし所愈ゝ本日午前九時營口丸にて出發歸朝の途に就く由なるが在留日淸官商數十名之を船中迄見送るべしといふ

●官民合同歡迎會の景況

我在留官民合同の發起に係る第二艦隊乘組將校歡迎會は豫記の如く一昨十四日晚軍政署官舍庭園に於て開かれたり先づ門頭になる國旗を交叉し球燈を吊るして裝飾を施し此にて發起人の重もなる人々一々來賓を迎ふ折れて右し園內に入れば池畔の廣場に天幕を張りて宴會場を設け紅燈を縱橫に吊るして風趣を添ふ豫定の時刻たる八時半には主人側の參會者たる在留官民は概ね參會し本日の主賓たる出羽司令長官、中尾司令官以下乘組員の重もなる人々亦定刻に先ちて來會せられ四阿屋に休憩して參會者に接見し暢談時を移されしが此の間同艦隊の寄附に係る海軍樂隊は絕えず奏樂して嚠喨林樹の間に響き森嚴の中自ら怡樂の色を帶びて興限り無し九時半頃豫て奉天へ觀光せる山屋參謀長以下三十餘名の將校も來會せられしを以て此に宴會場を開き賓主各ゝ席に着するや與倉軍政官發起人一同に代りて歡迎の辭を述べ終りて軍政官の發聲にて第二艦隊の萬歲を三唱し司令長官以下來賓諸員の健康を祝し一同之に和するや出羽司令長官亦起ちて之に答ふる所あり且つ營口在留民が將來に對する希望を述べて其健康を祝せられ一同又之に和せり既にして宴開け校書杯盤の間に周旋して其興を助け獻酬四方に起り談笑の聲場に滿つ而も此夜來會する者賓客は是れ武勳赫々たる帝國海軍々人の精華主人は皆是れ營口紳士の粹を拔きたる者醉て亂に至らず樂んで荒に至らず嚴肅を以て宴會を終始せるは實に當夜の一大異彩にして且つ餘興として藝妓の手踊も無く三絃の聲すら聞かざりしは營口に日本人の宴會なるものありて以來蓋し未曾有の事に屬す賓主十二分の歡を盡くし十一時頃散會せり

●第二艦隊の拔錨

豫て碇泊中なりし我第二艦隊は碇泊三日其間乘組將校は我官民の歡迎に對して頗る滿足を表せられしが出羽司令長官及び中尾司令官は昨午前十一時を以て乘艦し他の上陸將校亦前後して陸上を去り昨夜港外に於て勢揃を爲し今朝未明拔錨せり聞く同艦隊は今夜葫蘆山灣着明十七日大欽島若十八日大連に着する筈にて夫れより更に芝罘に赴き山東近海を巡航し根據地たる鎭海灣に航すといふ吾人は別に臨みて前途航海の安全と司令長官以下乘組員一同の健康とを祝せざるべからず

●ボーリングの狀況（軍政署官舍前の鑿井事業）

由來營口には純粹なる飮料水なく土民は塘水を飮用し吾々外國人は田庄臺附近の水を水屋より一荷八九錢位にて買ひ求め居る有樣にて當局者も之れに就きては大なる注意を拂はれ遂に軍政官々舍の西南方に約六千尺堀鑿の目的を以て本年五月頃より油礦式のボーリング（堀拔井戶）を始められたる事なるか右は地層の全然セメントの如き泥土なる爲め其工事豫想外に困難にして現下漸く七百尺位に達したるも送水の一分時にても休むときは直ちに鐵管の固着する爲め掛員一同は晝夜兼れの有樣にて請負主太田氏技師森村氏の熱心は實に筆紙に盡し難き有樣なり順境に行けは來月半ば頃迄には完成する見込の由目下水の湧出する事はあるも未た全然鹽分が除去され居らさる趣きなり元來此のボーリング工事は營口の飮用水問題に重大の關係を有する事項にして若し是れにして完全の成効を得は現下營まれつゝある飮用水の販賣或は將來來るへき水道敷設問題も之れに依て運命を左右せらるゝきへ筋合に付き吾人は營口居住民と共に故障なく成功せん事を望んて止ます

●滊船彙報

▲滊船クンピン号は昨日午前六時二十五分上海へ向け仝アソン丸は午前九時四十分芝罘へ向け何れも出帆せり

▲滊船第二千代田丸は昨日午前九時二十五分門司へ向け出帆せり

●一往一來

▲三上聯隊長　在大石橋第六十一聯隊長三上中佐は一昨日來營官民合同艦隊歡迎會へも列席せられたり

▲鎌田旅團副官　第三十一旅團副官鎌田大尉は一昨日大石橋より又步兵第五十六聯隊附將校園田成憲伊木狀五郎二氏は同日任地より來營孰れも東雲旅館に投宿

▲井戶川少佐夫人　新民府軍政官井戶川少佐夫人米子外三名一昨日同地より來營旭館に投宿せり

遼河の濱にて　草生

夏の霖雨おとしては
帆影に濡るゝ我や憂さ
ゆふべの色のくれなゐに
あゝ、下る江のはるかなる。

水よ、いづこへ浪たてて
八また千またに瀨を成せる
その川上に曲水の
宴せんには聽じな。

世の戰ひに喘ぐとも
この濁り江の瀨をはやみ
掬ぶにくろき水の色
いつ澄みもする人の世か。

あるひは天津大空の
銀河とたぐふ川面も
はた荒寥の情に泣く
胡歌の境に外ならじ。

時に森なす舟の數
百千の榮にはてるとも
風凄寥の聲あらば
一河氷つてまたものを見ず。

日報俳壇　野梅選

課題集句選　其六

、蟬なくや院の小僧の丸裸　旭山
、蟬なくや晝なは開き奥の院　同
食ふ丈はかせいた苦力の午睡哉　殘夢
、上乘の帆かげ涼しき午寐かな　同
けふも亦棋も打倦てひる寐哉　同
くもの峰馬賊近郷に出沒す　老兵
、雲のみね打かさなりて夕榮す　同
○竹椽や蟬の殼からふかれ來る　同
、わか家をとり圍む如せみ時雨　同
蟬さしの日暮てもとる軍歌哉　同
巖頭の威ひや、かに午睡かな　古江生
○弟の足にまくらすひる寐かな　同

貨物の價

穀物相場（五日）

		兩錢
青豆	一石	七、〇四
黃豆	仝	七、〇一
黑豆	仝	六、〇九

綿布相場

		兩錢
大鹿	一疋	四、〇八
狗頭	仝	四、〇〇
巻	仝	四、〇六

		兩錢
老人馬	一疋	四、〇五
金鼻布	仝	四、〇五
奎[illegible]	仝	六、〇〇
藍圍龍東布	仝	五、〇五

		兩錢
九龍	一梱	七、六〇
彩美人	仝	七、四〇五
人担茶	仝	七、五〇
紅人	仝	七、四〇五

	圓錢
內地向	一〇二、〇〇
上海向	七一兩〇五
天津向	一〇三圓五〇
芝罘向	[illegible]

軍票百圓　銀百

●鐵嶺の衞生事業　鐵嶺軍政施行中の三大政務中に數へられたる同地衞生事業の衞生を施行するとと爲り其實行委員として河內藤田の二氏を推薦し近々支那側委員

自十五日午後六時至十六日午後六時

小說 市松格子（三）

ふみを

「何から何まで難有うございます。」と女は道子が瀧縞の浴衣を借りて、濡髮を束ねた姿の何となし婀娜っぽく、男好のする下膨れの顔をつゝましげに俯向けて、借あらためて禮をいふのを。

「何のあなた、お互てすもの、この樣子ではまだく一寸晴れ間も見えませんから、那邊まで往つしやるのかぞんじませんが、御寛然なすつて被居しやいまし。」

「どこから來られたんですか、この天氣に」煙草をくゆらしながら此家の主人尾島達雄

「はい………あの」

うつとりとした目を擧げて口籠る其時、お吉が朝餉の膳を持運んで來る、

「お吉、お女中に茶碗と箸を持つて來てあげてくれ、ま、一膳つき合ひませんか、雨に濡れたり風にあつたりして好加減腹も減つたでせう。」

と氣輕にすゝめる尾につれて道子も、

「何もございませんが、どうぞ、御一緒に頂かうぢやありませんか、ねえ、」

「ゝえ、難有うございますもう充分でございます、どうぞ私におかまひなく召し上んなすつて下さいまし………」

「ま、さう云はないで一緒にやりませう、一人でも大勢の方がお旨くたべられるものですからね。」

吸ひすて煙草を火鉢の灰につきさしながら、いま頃女の身の只一人雨具の用意もなく、殊には只一人、ともすれば考え込む樣子に何か仔細のなくて叶はぬこと、早く見て取つた達雄は、默てはゐられずいつもの癖として樣子によつて一臂の力ともなど、心私かに期する處もあれば束の間の身のこなしをも等閑にはせず、

「ゝね、ほんとに今頂いて出てまゐつた斗りなんですから、………」

と飽くまでも辭まうとするのを無理に强ひつけられ、茶碗とつて箸まで持たせられんばかりなので、仕方なく三人鼎形に坐つてそこく朝餉を濟ます、

「そこでどこから來られたんです」

とまた改めて問ふ。

「はい、あの湯本からまゐりました」

「湯本から………お一人でそしてどちらへいらつしやるの」

と妻が入れて出す茶にまづ咽喉を濕ほしながら問へば

「はいあの………豐川までまゐるんですけれど………」

何やら奥歯にもの丶挾まつたやうな返事

「豐川へ、それは大變だ」

「まあ豐川まで、どんな急な御用かは存じませんけれど、此あらしてはとても往かれるものではございません、よし又往かれたにしても、並や大抵のとではございませんまいから、可に角成るべくならば寛然なすつていらつしたら宜しうございませうねあなた。」

道子は人事とも思はれぬ樣に云つて夫へ投げかくれば、ぢつと女が樣を見遣つた達雄の。

「貴孃は湯本なんですか、それとも豐川でいらつしやるの。」

「湯本に居りますものでございます、」

「ふふむ、然しまだお馴染でもない私があまり立入つて失禮なことをお尋ね申すやうですが、先刻からお見うけ申す處、何か大變考え事でもなさる樣子、膝とも談合といふともあればまた何かのお力になつてあげることが出來るかもしれませぬ、若しお差閊えでもなかつたらば打開けて下さいませんか。」

「は、………はい難有うございます、人樣にお聞かせ申すのも恥かしい私は誠に便りない身の上でございます………」

と打見張つた目のかがやき。

雜報

●巷談夢見枕（三）　亞面坊

これ等の女の中にも小才の利て、澁皮向けた年增の述懷てそあさましけれ。私は彼女ほどに未開女であらず女郎の五年も勤めた身ゆゑ、どんな處でどんな事をする位の事は知つて居たれど、どうせ腐れた軀なり三分五厘の浮世の中を多寡を括つて來るその途、情なや親方に無理强に口說落されました。といふ、相對づくだらう。何の、那麼凸凹の因强爺に。それではどうして。彼野郞はじめから妾を弄ばうと思つてか船の中で、はじめは蟲も殺さぬ樣子してちやほやしてゐましたが事によそへて本音を吐いたのを手强く小劍たらば、これでもかと、出したものを見れば、いつの間にか立派な手續を踏んだ妻、その爺の妻となりかはつてゐる戶籍の膽本。ねえ、字知らぬを僥倖によくも斯程は巧まれたと齒切りしても後の祭り、散々慰まれた揚句がまたかうして叩き賣られました。樣子を聞けば、白粉塗つたり、紅脂つけた身のかざりはど猶情無い身の上いやな客にも金故に情を賣らねばならぬその身の辛さはよと、朝も晝も泣き暮してばしゐるかと思つて見ればそれは間目の取越苦勞、あの客はどうの、この客はあああのと口を酷くして憚りもない品評、今月は妾こそ一番の揚り高と客を欺いた數の多いを誇り合ふ凄じさ。同情も絲瓜もかけられたものにあらず。營口邊りへ渡つて來た時は立派な夫婦連喰ふに困つて亭主は人の家へ手傳ひ旁々の食客、女房に茶屋奉公させて稼いで時が來たらばまた元の鞘へ收まらうと確り水入らずに約束して泣いて別れたその袖も乾かぬ間に廓の廓身にや浸みけん、夫の事は上の空に我身ばかりの榮華三昧 貧に困つた亭主には鼻も向けぬ始末。古稀の心となつたなら我事はどうでもよし。世話になつてゐる家の主人が男手ばかりの處を着物の綻びれば一寸來て縫うてあげては呉れまいかと亭主が女房に頭下げてかける相談を、へん那麼隙はありませぬね、今からお客と芝居にゆかねばならぬ、愚にもつかぬこと云うて女房强るやうな意氣地のないことをせずと早う稼いで金でも儲けなされ、甲斐性のないお方と、けんもほろろの愛想盡し、世には酷い女もあればあるものよと。男泣に泣いてゐたとの亭主を目の前で見て來たといふその女の友達のお話し

●領事館事　目下民事々件は休暇中にして刑事々件のみなり被告事件は窃盜として瓦房店の本山謙一毆打創傷として錦州の小糸正(二十七)なりと而て小糸は鬪爭の結果支那巡捕の指三本を切りたるなりと

●金之助目から火を出す　一昨々夜の事なりき神廟街東邦亭藝妓金之助事上杉マサノ(一七)と云ふ餘り誤面相のよくない三毛猫にド亭内ビヤホールにて同所の門前を通行せる文廻し屋の西洋人三名を呼び込み最も人目を惹く所にて下らぬ日本語と支那語の間の語にて聞くに忍びざる言語を弄し剩さへ往來より見るも甚しき振り舞をなして巫山戲散らして居る所を折りも折りとて市內巡視の憲兵に見咎められ懇々說諭を受けながらも馬の耳に風と聞き流し同憲兵の立ち去るや否や又も野卑極まる俗歌を歌ひて牛氣の平佐で濟し込み居るを同憲兵の聞く所となり再び立戾りて亭主西崎及び前記金之助の兩名を呼び附けて目から火の出るような大目玉を頂戴したれは流石の姬談前も大に辟易して張り子の虎のそれならで閉口頓首して漸く事濟みになりたりとは隨分御氣量の下がつたお話なり

●文明式の失敗　苦力と日本人の勞働者を顧客として收入も薄からざる二ノ町楠屋におシュン(一九)と云ふ天草式美人あり此美人日本人よりも淸人の苦力を繰つるに餘程妙を得だると見へ日々少なくとも五六人を對手取りて〇〇の切賣をなすと云ふ强の者故に往來を通行するも文明式とやらに苦力と手を引き合ひ巫山戲なからチーチパーパを極め込むと云ふ有樣現に一昨夜午後十一時過ぎ例の某苦力と散歩テナ譯子で互ひに手を引き合ひ南永世街公樂園附近迄到り女もある間敷猥褻極まる話しをなしつゝ居る所を其筋の人に認められ散々其不心得を說諭せられて其儘スゴ〳〵と立歸りたりと云ふ幾等文明式とは云へ少しは同胞の体面を重じて貰ひたきものなり

●姉妹の科料　揃ひも揃ふて姉妹二人が一時に一兩宛の科料に處せられたりとは隨分困つたものなり南永世街大工職池田潛平同居の池田へわ(廿二)同苗ヲコ(一九)の姉妹は一昨夜十一時頃垢染みたる而かも筒袖の浴衣に細帶を締めたるまゝ引臼の如きお尻を後に突出して第二市場附近を喃々運行せるを其筋のお役人に現認せられ嚴しき說諭を受けた上其お土產として夫れ〳〵一兩宛のお灸を據せられたりとは高價い浴衣もあるものなり

●大坂相撲瑣談(一)　手柄山を大關として過日より元新地に興行せる大相撲は初日以來連日の大入なるが力士重なるものに就て見たるまを述べん東方相撲とは異なりすが大阪仕込とて躰格▲他に一向見るべき力士は居らざれど東の鶴ケ嶽は一行中最も點なきものなるべし▲取付きもおちつき充分一方の覇たるを格を備え且國見山然り變にて人氣ものなるべし▲鶩ケ濱は余皆て大阪に於て彼を見し時の勇氣は喪失たる樣なるもゆつたりとせし所に何處となく當年の面影殘りて捨てられず思はる▲松ケ枝は少し年老いたれど熟練なる取口寸人氣ある力士なるべし▲手柄山は今回大關として彼か往年の經歷に徵しても耻からぬものなれど東京における鬼ケ谷の如く既に下り坂の思ひありて聊か元氣喪失氣味見ゆるは遺憾なり(つゞく)

●料理屋の兼業改(遼陽)　軍政當時より許可せられたる遼の料理兼旅館業者は此度發布になりたる締規程により來月盡日を以て兼業を解くき事となりたるが尤も一戶と雖も整然區を立て營業するに於ては差支なかるへしと云ふ

▲營口は大連に比較すると百事整つて居る樣な感じがする營口居留民たる者大に緊褌一番を要す(春濃)▲皆樣に伺ひます私は下宿業を營み度くひます相當の家屋があれば御報知たのみす(一女性)▲漸浪さんあんまりねらさう、うぬぼれてると、素抜いてあげますよ知らないと思つたら大變ですぜ(四つ旦)▲第二艦隊の歡迎大に可也然れども寄附を募る下士以上、下士以下に區別す同じに募りて適當分配せば可ならずや(H生)▲鐵嶺倶樂部にて此頃會員に茶を出す樣なりしは一個の進歩である一層進んで喫茶室の設備が欲しい(望蜀生)▲邦人に一攫千金的の業を敢てする者が多いのは無資力の所爲であらう(春濃生)▲貴社發賣の支那政府組織は今から申込んでもありますか(圖書狂)　掛曰く今からでもあります▲邦人は兎角感情に驅られて事業をなす否公吏に於ても感情熱は去り難く見ゆ苟も滿洲三界まで打出した以上は感情に依て事を處する弊は共に除却したい敢て全感者を募る(鐵骨居士)▲雨か降ると營口の市中はだめだ何うかならないかな(I生)

●ぼんたの大連行(鐵嶺)　福屋を出る時はすつたもんだの大騷ぎをなし結局は明瞭てホテルに住み替へたる鐵嶺名代の「ぼんた」しも拍子に其後福屋より色々と根棺を入れられ遂に居たゝまらずして抱主とまとまる九日に大連へと志し跡なくなりしと云ふか定めし此れを聞いた殿方にはおふさぎの節も多からんと噂とりどり

●俥夫の法被　昨日より俥夫の法被規定され番號を付する事となれり

俗歌壇

喇叭ぶし　大塚龜甲

〇四隣寂けき夏の夜の、下弦に淋しき月影は露置く草木に見めきて、すだく蟋蟀の聲哀れ

評曰内地の晩夏寫し得て妙(紫)

〇逝きし良夫の玉影を、見るたびごとに獨り泣き、今主さんがましまさば、こんな勤めはしまいもの　仝

評曰お察し申す(紫)

〇鬢のはつれはなつかしき、君が手枕ふれし故梳るもいとゞ惜しければ、今度逢ふまで此まゝに　みや子

評曰戀情濃也(紫)

廣告

淡谷木局

本號開設營口東靑堆子發賣栢木方料栢木元料紅松料木油松方料元木大小㯽子廿四尺栢木大杆木板此木材出售價廉採買客人不知諱此廣告

東靑堆子橋南　淡谷木局

第二艦隊下士以下諸君へ寄贈品決算報告

收入の部　一銀七百八十二圓　寄附金

支出の部　一銀八百十一圓

差引不足銀二十九圓　物品代發起人負擔

右之通りに候也

明治三十九年八月十五日　發起人

第二艦隊將校へ寄贈品　寄附金者芳名追加

一銀二圓也　川村タツ子

一銀一圓也　近藤タツ子

一銀一圓也　大塚タカ子

營口本願寺出張所內　營口佛教婦人會

盛海洋行

營口永安街

玻璃　玻璃器　洋燈

近江病院 永世街二本町

院長　近江周友

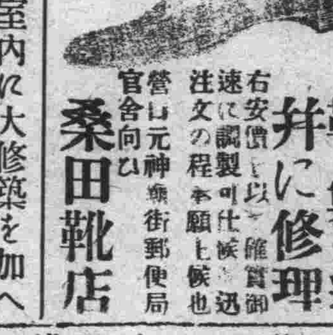
副院長　增田八郎

內外科梅毒婦人科眼科胃腸病專門

午前宅診　午後往診

入院治療を諾す

但輕便入院法あり來診を乞ふ



靴製造并に修理

右安價を以て確實御注文の程本願上候也　速に調製可仕候

營口元神廟街郵便局官舍向ひ　桑田靴店

旅館料理　扶桑館　奉天大西關

今度室內に大修築を加へ名妓數名を雇入併せて球戯場を增設仕候間諸方御客樣倍舊の御來遊を祈上候

◉煉瓦販賣

上り竈ニチ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニテ御需メクダサイ

二本町　高坂洋行　煉瓦製造部（電話九十番）

會席料理　三日月

營口警務課前南江入る

社告

一週年大福引會豫告

今回本社創刊第一週年記念として聊か讀者諸君平素の御眷愛に酬いんか爲に大福引會を催し多數の讀者に一人も漏れなく景品を贈呈する方法を採ることに致しましたその景品中の主なるものは

一等　金時計（大賞堂保險附）　一個
二等　貴婦人用帶地　一筋
三等　純金指環（大西白木屋呉服店牡丹製）　一個
四等　上等洋傘　一本
五等　縮緬兵兒帶　一筋
六等　縞毛布　壹枚
七等　フランチル單衣地　壹枚
八等　勸業貯蓄債券　壹個
九等　卷煙草入　壹枚
十等　言海　壹部
（十一等以下は漸次發表します）

等てあります、月極讀者は勿論、後満一ケ月以上本紙愛讀の方には周く福引券を配布します、景品陳列及び抽籤方法等の巨細も亦追ふと我紙上に揭げます

有志家寄贈副景品

▲白米　一俵　第三樓
▲八丁味噌（大樽）一丁　金城館
▲手拭　十反　日本館
▲エヂプト紙卷莨五箱　第一樓
▲縮緬上等兵兒帶一筋　奉天金城館
▲臺灣製夏帽子十個　醉月園
▲玉突券五十枚　第二軒
▲平野水四ダース二箱　東邦亭
▲エヂプト紙卷莨二箱　三日月樓
▲澤庵積一梱　公樂園
▲麻製ハンカチーフ五ダース　東雲館
▲麻製ハンカチーフ五ダース　大和館
▲敷島紙卷莨二十入三箱　萬直し
▲上等西洋料理券三枚　牛莊ホテル
▲リンチル上等洋服一着　富永洋服店
▲上等セル地婦人單物一枚　祇園閣
▲置ランプ三個　三友洋わ
▲呉服券三枚（五圓、三圓、二圓）　玉井洋わ

滿洲日報社

諸毒下し 毒掃丸 一名一ヶ月丸

梅毒、そう毒、しつ毒、胎毒、よこね、かんそう其他諸毒又ハのぼせ、頭顔、頭、手足に腫物生し困難する人一日も早くためし見よ

輕症ハ二週間重きも一ヶ月間にて全治すべし故に一ヶ月丸の名有り

大日本帝國東京市山崎帝國堂大藥房製劑 **毒掃丸**

本劑實爲梅毒專治之靈葯故瘡毒、楊梅瘡、胎毒濕毒、淋毒、天梅毒、便毒、痔瘡、及筋骨痛梅毒性咽喉爛及口中紅爛先天及後感梅毒性眼疾頭痛耳鳴等症服本劑其効神速的確恰如操左劵凡用本劑者病毒輕者則二禮拜乃至四禮拜全癒重者則百日乃至百五十日除根萬無一悞若無病之人服常本劑能快通大便排泄百毒庶足以徵其效驗也

●定價四日份 三角
●一禮拜份 五角

營口永世街（司法部前）
總經理批發 回天堂三木大藥房（電話百九十番）

廣告

高等麥酒スペシャルライト

スペシャルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尚夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり

本月一より麥酒取引は一切現金にて御願申上候

六月

釀造元 大日本麥酒株式會社
滿洲一手販賣店 營口元神廟街 關東公司雜貨部（電話五番）
分店 奉天四平街電話十三號 關東洋行

● 盛進商行 ●

東京萬長別製
男物 女物 風流下駄
各種新着仕候間不拘多少御用仰付被下度奉願上候

營口

雜貨 洋酒 煙草 卸シ 小賣
大連 南洋 湖北 彩票 販賣

西北街 周 裕和盛

鑵詰 紙 化粧品 特ニ安賣
東清鐵道 遼河貨物運送

電話八

御料理旅館 三河樓支店

弊館は奉天城外十間房第一風景美なる地にありて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に宏壯なる日本家風の二楷屋新築し樓上等も暑に應する設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候以上

樓主 川上總吉

會席御料理

座敷は高尚閑雅御料理は原料を精撰致し風味佳良に調進可仕最も美形の粋を極めし御取持は申すも愚か殊に御手輕に弊の特色に御座候間御安神被遊續々御光來の程偏に願上候

豊濟門街 柳亭

二白琴藝妓をも内地より呼寄せ申候間御愛顧願上候

開業御披露廣告

遼陽外西門外街西へ入
和洋御料理 遠山館

今回皆樣の御勸により遲れ勝に開業仕候其料理と勉強美形待遇とは決して〱遲れ樣にと精々注意可致殊に一棟西洋料理室の專用にもコツクも本國新來の腕利を雇入候へば美味は受合且輕便を旨とし一皿にても貴需に應ずべく候條續々御來館の上御試し被下度奉希以上敬白

御料理旅館 扶桑館

奉天西關大什字街第五局千〇六十八号
館主 堀田ハル
電話 号

改名業務擴張廣告

御料理旅館 元吐月改め 東來館

遼陽陳家街破水門より東へ入る右側

今回元吐月事東來館と改稱致候に就て此業務を刷新すると共に業務を擴張し精々勉強仕候殊に御料理は輕便を主とし時節柄一層吟味調進仕候間陸續御來館の程奉希候

遼陽兵站業務取扱所御指定旅館

遼陽城内喇嘛塔下 遼塔ホテル
仝城内東街 遼東館
仝城内 滿洲ホテル
仝城外喇嘛塔側 浩氣館
仝城外西門外通 藝陽亭
仝 遼陽館
仝城内街 東洋館
仝城内北街 滿洲館
仝城外西門外通 梅廼家

料理店 滿月

平野町（電一六二）

滿月支店 平野町入口 店主 青木勝惠

硝子、陶器、藥種、雜貨、質商、魚菜類

ラムネ、檬柑水製造販賣並に清酒金水、龍印特約一手販賣其外洋酒類

特にラムネ及檬柑水は夏季の飲料用として原料を精撰吟味す

遼陽西門外街 林洋行

御旅館 旭ホテル

家屋の宏壯と待遇の懇切と料理の精良とは當ホテルの長處

二百人迄の御宴會に差閊なし

場所は牛家屯行輕便鐵道の央

青堆子新市街（電話二三五）

新荷着

裝飾用簾 洋食用品 肉碎器 秤卅六貫以下種々 手提金庫 コツピー用附屬品

及掛窓附屬品 夏帽子各種 戸田式濾水器 宇治新茶 ワイシヤツ及カラー 學校用文房具各種 各種復寫簿

關東公司雜貨部（電話五號）

廣告

今般同業者一同協議の上自今左記麥酒は總て現金取引に相定め候間左樣御承知願上候也

（イロハ順）

朝日ビール 糸平公司
スペシャルライト 關東公司
札幌ビール 加藤洋行
朝日ビール 裕和盛
朝日ビール 松茂洋行
惠比須ビール 盛進商行

新荷着 札幌ビール 加藤洋行

牛莊松岡病院

内科 外科 眼科婦人科診療

入院治療を諾す

殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血清療法を施す

元神廟街第百三十四號
全科醫士 松岡玄雄（電話一五一番）

病室増築輕便入院

是迄病室少く多數の貴需に背くを遺憾とし今回更に増築し輕便と懇切を主とし一層院務を擴張し汎く専門の功果を收むす

○全身魔醉○局處魔醉○嶄新器械○無痛手術○

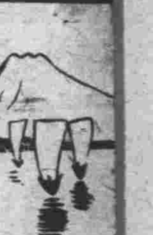
梅毒○婦人科○專門
外科○胃腸病

日本醫院

營口市況
豆粕 …… 豆油 二八、八 麥粉 二八、一八 太米（時價）二二、〇八（錢）
元馬仝 四、〇一三 三兎仝 四、〇一一 馬狗仝 四、〇一一 艶馬仝 四、〇〇五 眞龍相連仝 四、〇七三
益魚一捆 九八、〇〇 立馬仝 九六、〇〇 鐵毛仝 九一、〇〇 紅劉海仝 七九、〇五 老船仝 七八、〇五
綿花相場（両錢） 九龍百斤 一三、一八、〇五 西京仝
爲換相場（正金銀行）
內地向 一〇二、 上海向 七一兩〇五（軍票百圓） 天津向 一〇三圓六二五（銀百弗） 五日の一兩は軍票一圓四十錢五厘 軍票一圓……金一圓一錢五厘

とを恐れ橋口軍政官在任の時より種々苦心良法を講究しつゝありしが此程支那官憲に交渉の結果日清人協同事業として鐵嶺全体 …… りといふ

南の風



地方天氣豫報
昨日の氣温
最高温度七十九度二　昨年より低五度四
最低温度七十度五　高一度六

宮門抄

二十一日 內務府 廂藍旗值日無引 見 德峰假滿 請 安 內務府奏派致祭雷神廟 派出英瑞 召見軍機

論說

論仕學館積分平均點之謬

朱通孺稿

學堂積分之有平均點也。所以勸全材即儆勤惰也。異哉、仕學館之畢業試驗所。定積分平均點。竟有與教育之道相刺謬者。學部多材固如是乎。學堂考試。與科舉不同。全計平日之苦功。不計一日之長短。學生在堂以積分爲考成。而積分區別尋常試驗。學期試驗兩種。尋常者。積之在平日者也。月考積分也。講堂積分也。皆尋常者也。學期者。驗之於臨時者也。臨時積分之高下。有幸不幸存焉。必先將尋常者平均之。再加入臨時積分。以二除之。而眞數始定。此平均之法一。學堂學科。皆有用之學。不能偏重。如學堂積分以百分爲滿。積十分爲一點。十點。爲滿點。人雖至聰極明。斷無科科皆滿點之理。有一科積分不及百。平均之即不得滿點。堂中學科分若干種。則將每科積分之數相加。而以學科種類之數除之。學科愈多。滿點愈難。此平均之法二。學科之平均。所謂小平均也。尋常學期之平均。所謂大平均也。每一次試驗。先通各科積分而平均之。再將平日曾經試驗若干次。共積分若干百相加。而以試驗之次數除之。其愼重嚴密如此。學生斷不能怠惰於平日。而希冀考試時一日之倖勝也。平均點一點之中。內含有百數十分。故計積分者。毫釐不敢出入。今仕學館畢業考試。核計各生積分。不論新舊各生。概以六除之。殊覺不合。仕學館原定三年畢業。共六學期。畢業考驗。例將所得積分。與前五學期積分相和。以六除之。奈該館學生入校肄業。先後不一。有未滿六學期而畢業者。後來之學生。其積分斷無先來者點數之多。蓋少考一學期。則多一次零點也。以別學期積分補之。其虧甚矣。夫畢業既定三年。其未及三年之學生。是新學生也。本無准其畢業之理。無論何處學堂。亦無新舊學生。同一程度。同一學期畢業者。若變通辦理。令後來各生赶補功課。迨及舊生。則從前學期考驗。亦應補足。庶免積分之參差。豈知學堂肄業。按日計功。新學生雖穎達過人。不能與舊學生之愚魯者。爭一日之資格。舊學生雖積學有年。不能休業以待新學生之補習。已往之歲月。新學生不能與舊學生同。後來之歲月。舊學生能與新學生共 此限於天。而非人力可強爲也。今混合新舊學生肄業之年限。於教育之辦法。已大有妨碍。況核計積分平均點。又不允協乎。夫積分之平均點。所以鼓舞學生向學之精神。亦教育者。之權術也。凡人好逸而惡勞。學生程度不一。常有托故規避。臨期告假。不與試驗者。故學堂核算積分之時。設爲大平均之法。通各次積分而計之。使爲學生者。知此學期苟居劣等。則前學期之優等不足恃。時時標標危懼。不敢荒嬉學業。今該館新學生。並非請假。實因來堂肄業。未滿六學期。已往之積分無法補足。而計算之時。强以新生未來堂之學期。其積分均作零點。不令補考。以別學期積分補之。與尅扣何異。是以舊學生之積分。壓抑新學生也。其不公甚矣。譬如舊學生中。有托故避考者。新學生則有欲考不能者。兩人之勤惰判然。而平均點無甚差別。何以服勤者之心。而慰其勞乎。既欲速成。則當補行學期考否。則後來之學生。不能以六數定平均。無怪此次畢業。全榜無一最優等也。今所定平均點之法。於教育上辦法精神權術。三者俱失。與考各生。無怪其嘖有煩言矣。堂堂帝都。學堂林立。而仕學館先行畢業之禮。應爲學界視綫所集。而貽誤若此。豈不貽笑國中耶。恐更灰來學者之心也。

中外要聞

●中俄議約無期 中俄議約久不聞消息茲據確實消息云近來俄使璞科弟君時常赴北戴河避暑其在使署辦公每月不過數日故唐侍郎無法開議蹉跎至今日云

●趙次帥對於立憲意見 端戴兩大臣此次赴西洋各國游歷考察政治稔知中國立憲刻不容緩其到滬時電致江鄂直粵等處各總督及趙次帥請贊成立憲會銜出奏聞張周兩督及趙次帥現有覆電皆表贊成據趙將軍電略云我國立憲不可一日緩而國民程度尚極幼稚難遽望實行宜定期十年或十五年以定人心先須提倡教育開通風氣改革幣政釐訂官制以爲立憲基礎云云張周兩督意見亦略與相同雖未悉袁岑兩督意見若何然由其從前立憲奏議揆之與張督等意見略同吾人不久可得望諸實行矣

●法使警告黔民鬥教 聞駐京法國公使日前警告外部聲稱貴州苗民揭竿倡亂將龍里縣教堂打燬教士逃避雖經派兵彈壓尚未平靖請轉飭該省巡撫剿匪保教勿釀交涉巨案

●杭屬新城教案賠款合同

大清光緒三十二年六月初十日

即西歷一千九百零六年七月廿九號

大清國浙江新城縣知縣沈 紳董洪王袁

大英國安立甘會主教慕 牧師馬俞章

今因五月初七日新城地方帮匪作亂放火爲號致將松溪所租民房之耶穌教堂焚燒其時匪衆分路攻城城中急辦防剿不及救護教士全家幸已出險現在由縣剿平匪亂並將放火燒教堂之匪徒史炳生王恆進等悉行嚴辦於六月初十日官紳會同主教牧師等公議賠償及善後各條和平了結訂立合同各執一帋從此相安款目如左計共十條

一教堂裝折并公用什物

一教士家用什物衣裳首飾書籍雜件等

一教士避難幷爲此案所有公費 以上三款官紳及牧師等公平估議賠洋一千元並由紳董等願爲承認惟縣官念地方旣遭匪患不忍累及紳民當即聲明由縣籌給擬於初十定議之日先付洋二百元餘約六月底給清

一教堂所租房屋

一鄰居被累居屋什物 以上二款房主周袁兩紳不願賠償提出另議

一安定重開教堂房屋 議由周紳將房屋改造仍行放租一日後立堂之所請禀准上台駐兵永遠保護 現在該處駐有緑軍一排將來撤回由地方官飭籌辦警察民團切實保衛

一議結教士回新之日請申護送之情議於十二日即與紳董同行縣中酌派親兵護送

一教堂房屋未竣請爲教士暫備寓所議就城內外地方酌量借給暫住

一教堂重開之日請出示曉諭

此條自可認許

尚書面奏派大員查西北邊 聞官場消息云日前特圖慎尚書陛見時兩宮垂詢肅邸查辦東蒙情形以及西鄙邊防情形特尚書奏對蒙古新疆地方與强俄接壤邊防不可一日鬆然土地綿遠節制不便實有鞭長難及之勢故本院堂司集議特派劉道仁考察伊犁新疆情形而該員閱歷尚淺未堪此重任故奴才俟該員查覆該處情形願仿照肅邸考察東蒙之例另派大員二名帶同隨員一考察伊犁新疆等處一查辦西藏地方以整頓要政而鞏固邊防等語奏對頗愜 聖懷 想理藩院如籌得的款必可見實行矣

●奉天財政困難 據奉省歸客云奉省處日俄戰爭之餘內外要政待理孔棘而整頓要政需款甚鉅非先整頓財政不可史都護有見于此委任財政局總辦以來悉心改良稅務整頓財政無如人民受日俄戰爭之餘困憊異常無力担荷諸稅加以人民蒙昧不知新政之急嘖有煩言如不速講變通之法必於新政爲一大阻力云

●伊犁將軍消息 聞伊犁將軍長庚有電到京言已於六月十六日接篆馬留守已啓程赴烏里雅蘇台將軍之任矣

●歸併內閣確信 政府議裁軍機處政務處名目所有事宜歸併內閣以收中央集權此誰倡之已久現聞出洋大臣陸續已京將首先提議此事以便實行改革而爲立憲之先聲

●贛同鄉議爭改徵粮銀 贛省同鄉京曹日前咸集會議因江西巡撫奏請改徵粮銀一事實屬病民刻已聯銜電致該撫請暫停辦一面與政府提議駁斥不准施行務冀以達其目的云

●張香帥之閱操 鄂督張之洞特派工程營一隊赴彰德府大操場佈置一切以爲秋操之預備聞張督有親自北上閱操之消息

●鄂省木商安靖 鄂省前因川漢鐵路欲在武昌鸚鵡洲地方爲車場而該處係木帮商人之碼頭於是木帮商人大起衝突幾成巨患現在諸皆調停妥當木商均已照舊安靜矣

●浙路聘定工程師 浙江鐵路總工程司聘定羅嶽生爲總工程師聘邵文彪爲副工程師已從事勘查路綫矣

●徵收木稅定章 昨聞督辦鐵路大臣直督袁宮保咨行崇文門稅務司片文一件所有各省由火車運到木植各料無論華洋各商應照章徵收稅課查花梨楠木梨木板片應歸稅務司徵收其餘黃櫨木船板木等料向歸鐵路卡局收稅不得雜亂無章以重國課而免轇轕

●湘寶慶府亂耗 湘省寶慶府有會匪與饑民勾結滋生風潮勢漸蔓延

●稅關日員轉任 滬埠海關日員橘君此次轉調大東溝海關想當充爲稅務司

●英報贊日待韓 倫敦泰晤士報對於日人查悉韓廷與匪徒聯絡聲氣滋生風潮猶寬假之不加嚴懲竭力賞讚日人之辦法頗爲適宜並勸以待遇韓國勿視爲戰敗國云

●美斃日本漁戶 美人於亞利西安島捕日本業漁戶者五名一併殺害其後有美國巡船駛抵該島緝捕殘員二十名而去未詳美人何故殺斃日員也

●英德兩皇會晤確信 德皇維廉與英皇愛華德定於八月中旬普理特利首布城晤談一節查屬適確

雜報

●謠傳更正 前之報端載海城來人所傳邑侯管公前曾得一怪症云云先有公之戚屬某君近來卜居聞之關心綦切即往海城縣署省視該君於署居留數日前日旋回言公前實染患癰症經聘日本軍醫某君割治着手成春早就痊可不識該邑人民由何造此謠傳幾於侈口汚衊此事令人聞之殊堪痛恨且公之爲人光明磊落心性純正凡辦理學界政界事宜無不以開通民智破除迷信爲宗旨當此國步艱難之會正爲士君子有斯民之責義所當爲尚今春賢令尹曾飭改娘娘廟基址爲兩等學堂想係迷信不除之頑固欲抗不能欲阻不得故造言見神見鬼之事以毀謗我賢侯耶總之管公固未嘗見怪而妄爲傳述之人乃自不知其怪誕不經而尚以語怪爲得計可哀也夫

●海城縣舉行學界祝嘏會 昨聞海城來人云中歷六月二十六日即西歷八月十五號恭逢大清國 大皇帝萬壽 聖節之辰聞縣尊管公倡率學堂諸生及閤屬紳民員弁等於是日午刻躬望闕廷叩頭祝嘏並潔備盛筵邀本邑紳商各董同臨祝賀蓋管公之意在提倡學界諸生俾知國恩高厚藉此振發其愛國精神勉勵將來以期仰答君父之鴻恩於異日云

●段君演說紀略 赴大日本留學生段君柳橋昨在萬國演說會演說云凡是人民皆當愛國國存然後有身家性命我中國人民現下當以猶太人爲戒猶太人因無國而寄居列邦有愛惜者伊之性命存焉有殺害者伊之性命無焉凡我中國人民此刻若不愛國將恐與猶太等況猶太人知各國方言律法尚不能得自主我等中國人民不知各國律法將恐不如猶太人可不奮然興起皆以愛國爲念乎又說在日本從學的規矩實在開人心思啓人愚昧又說教案之起一在乎官長不能持平辦理凡遇訟事仇視之教民有理亦算無理畏懼之教民無理亦算有理一在乎入教之民假教如護符欺壓教外之民未入教之民視教如陷阱仇敵入教 民視教外之人如不同類格乎不入此教案之所由起也不知均是人民若一視同仁又安有教案之層見迭出乎說的言語極多很覺透澈人皆鳴掌稱善惜乎段君半月仍赴日本讀書不能在此時常演說以開愚民之智慧僅此一番衆人皆欣慕不已焉會歟魏雅台

笑林

●米形如手 法國人曾得珍珠米兩顆形式如同人手似的十指尖尖分別的很清楚物類的變化什麼都有如圓瓜變成長形直竹變成曲形米粒變成手指形更爲奇妙這是一千八百八十五年生的事即清歷光緒十一年

●鼠尾相連 法國博學報上說獵人某獲得一種野鼠各尾都粘連在一處得到一個便牽連着許多少者七八個多則一二十個竟有多至四十二個的眞是奇談有人說這類野鼠尾有膠質所以各尾相連

●牛生雙頭 美國有一牛一個身子兩個腦袋耳朶只有兩個眼睛却有四個左邊的腦袋吃東西飲水搖動一切都極靈便右邊的腦袋却不能自動但隨着左邊動轉左邊嘴吃東西右邊的嘴中也流唾沫細驗右額上有一凹處因知右腦缺少不完全所以知覺運動都不如左邊動物有連生植物也有連生的如連理枝之類都出乎尋常之外

●打扁担 漢皋狎者召妓侑酒不至則謂之打扁担頗昧其義後考粵西搖俗男女倚歌自擇配女笄則縱諸野少年從者且數十次第歌侯女歌意所答而一人留男遺女以扁担一條女受之即約爲夫婦意者狎客召妓猶以扁担授妓妓不受轉將扁担打之故引爲大辱歟

營口旅館料理店案內
いろは順

旅館料理　第一樓　元神廟街九十六號（營口ホテル）

料理　入船亭　永世街百八十三號　谷初次郎

料理　一力　營口永世街　店主　堀　万助

旅館　日營ホテル　河岸通り　店主　井上　源吉

料理　東京館　永世街八十六　店主　村上京四郎

旅館　東京樓　營口新市場前（電話一六番、四四番）　店主　熊田象次郎

旅館　東茂旅館　西北街百七十三號正金銀行西三丁程

料理　千鳥　元神廟街百三十三號　店主　吉住　善藏

料理　沖の嶋　永世街百六十四號　店主　中川彌三郎

料理　翁亭　並に氷いろ〳〵　營口元神廟街　店主　長谷川金次郎

料理　吉野亭　永世街八十六號　店主　坪田　正好

旅館　高砂ホテル　西北街（電話一四五番）　店主　引山小みつ

料理　樂々亭　營口元神廟街　店主　武部　貞

旅館　大和館　永世街三十四號（電話十一番）　店主　前田九一郎

料理　萬梅　豊濟門ヶ第百〇四番　店主　島田　彌助

料理　まんなをし　永世街字二本町　店主　和田　常松

和洋料理　公樂園　南永世街

料理　喜樂亭　營口平野町

料理　都樓　平野町　店主　阪本　ちか

旅館　東雲旅館　永世街七號　店主　谷口今朝太郎

旅館　品川館　營口永世街一六號

和洋料理　松月亭　營口元神廟街一一三四　店主　和　末松信太郎

料理　醉花園　旅館　澁谷旅館　永世街百二十七號　店主　澁田　留吉

奉天旅館料理屋案內

商人御定宿　瑞豐館　奉天小西關大街北側　館主　河野嘉吉（電話□）

會席御料理　高等御旅館　天神樓　奉天小西關大街北側　湯泉村ヶ勉強キレーデチイシヒ（電話□）

旅館料理店　日章館　奉天小西關大什字南街へ入（電話□）

奉天兵站部指定　旅館　茂林館　奉天小西關大街路北（電話二十五番）

御旅館　瀋陽館　奉天小西門外大街路北

御定宿　第一東京館　奉天小西關第五分局八一〇　館主　松田平四郎
今回弊館組織に大改良を加へ清潔閑靜を主として旅館を業に單ら御客樣の御便利を計り內湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館　御料理　梅松館　奉天城內灰市街東華門宮殿東側　館主　押尾富次郎（電話號）
今回弊館座敷增築の上清潔廉價を旨とし川魚（鰡丼鯰蒲燒）等をも新調且つ仕出等致し御中喰かは至極御便利に御取り計ひ可仕候多少に不係御用命の程偏に奉願候

和洋高等御料理　遼東館　遼陽城內東街一八九號　電話　號

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
營口綏定門街ブロツシ商會東　喜川鐵工所

和洋會席　御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町　日本館（電話百三十）
各位樣

料理店旅館擴張廣告

奉天小西關新來當街々　御料理　本店　金城館（電話十九）
奉天小西門街大什字街　御旅館　金城ホテル（電話一〇）

四方各位益々御清榮被爲入奉大賀候陳者弊店儀曩に滿洲樞要の都府に當る當奉天小西門外什字街に料理店旅館開業仕候大方紳士紳商諸彦の御引立を蒙り日に增し盛大を來し從つて家屋手狹まを感じ候に付今般一層業務を擴張し更に本店を當府小西關新來營衙街に設け以て專門の料理店となし日本式ナ宴會（百人迄の設備有之候並）に歌舞演藝に適する樣大廣間落成致し候に付き此際本支店共奮つて一大改良を施こし親切叮嚀に衛生と清潔とを主とし精々勉强廉價に相務め可申候間倍々一層之御愛顧御引立の程伏而奉冀上候　敬白
追而料理店旅館の位置は奉天小西門より約二丁西方に當り市街輕便鐵道を中心として旅館は東方へ約一丁餘料理店は北方へ約三丁有之候間御來駕之節は路上の目標に御注目被成下度特に願上候

營口永世街　御料理　支店　金城館（電話八三）
營口永世街　御旅館　支店　金城ホテル
大連市吉野町　御料理　支店　金城館
大連市吉野町　御旅館　支店　金城館

遼陽城內西街　御料理　盛進館　雜貨　井川商會　店主　北ツネ

奉天軍政署指定旅館　和洋御料理　御旅館　奉天館　奉天城內鐘樓南大街（電話十四番）

日清倶樂部　奉天城內大南門裡大街（電話十五番）
麵麭製造　西洋洗濯　靴製造　日本大工　理髮　裁縫
氷卸小賣所

一杉丸太長一丈より五間迄
一杉末口一寸以上八寸迄各種
一杉樅栂松板類各種
一大小押角挽角小割各種
一右廉價販賣
營口永世街　喜久洋行（電話一五二）

○板材木　○蚊張　○金物類　○金庫　○疊建具　○花莚　○椅子　○ペンキ　○テーブル　○洋燈類　○文具　○鰹節雜魚　○紙類　○酢醤油　○罐詰　○其他雜貨色々
新荷着大安賣
（石）石光洋行　營口西北街
遼陽西門外　石光洋行支店

（有）
土木建築請負　煉瓦製造販賣　雜貨卸小賣
有馬組遼陽出張所　遼陽城內西街　主任　海南右門

滿韓境上唯一樂園　五龍背温泉
安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半
温泉場ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁
眺望絶佳今ヤ新綠滴タルノ下清流掬スベキノ仙境タリ
當温泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ
效能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂麻質斯、黴毒、癩病等ニ特効アリ

西洋料理
弊ホテル義は歐洲風の旅館にして玉臺ピヤノ及び應接室の設備有之御宴會集會多人數の御立食仕出しにも應じ尚御來客の朝食午晩に區別仕り候外一二品の御好みにも應し篤實に調進仕候間陸續御來臨の程奉希上候
進物用に適す料理切手發賣仕り五枚以上御買求被下候は丶割引仕候
牛莊ホテル（遼河々岸）

自造　煉瓦●瓦　並に各種石材販賣
營口青堆子　加州組（電話八十六番）

土木建築用諸木料
板硝子類
マルソイド便利瓦
九州セメント
オールドスコッチウヰスキー
廉價販賣
營口青堆子綏定門外　志岐組　商業部

惠比壽ビール
金井洋行　盛進商行

土木建築並ニ測量設計請負
營口青堆子綏定門外　志岐組

軍隊用雜貨　日用品雜貨　食料品種々　船來品類
其外新荷着船來品精々大勉强販賣
遼陽西門外筋　北原洋行

醇良日本酒　金盃
サッポロビール　大販賣
和洋雜貨　洋酒化粧品　千賀洋行　奉天鐘樓南大路西
酒類　食料品　千賀洋行支店　奉天小西關大街路北
孔雀印平野水

石材　石灰　大販賣
英治洋行（營口西北街）（電話三二）

ペンキ塗請負　京阪組
營口豐濟門街三十一號

臨時出張所　鐵嶺正金工場內　新民屯泰東公司內
軍隊用雜貨　日用品雜貨　吳服太物類　化粧品類　陶器類　食料品類
卸小賣　石原商店
營口永世街七十號（第二市場東）
其外新荷着精々安價販賣

白米、⑱醬油、味噌、木炭、酢、淺草海苔、罐詰、乾物、日用雜貨、漬物類、清酒澤龜特約　東京タクアン　其外和洋酒類
大原洋行　永世街第廿八號（無比廉價販賣す）

歐米各國最新流行形
西海洋服店（電話二百十七號）
永世街一四一（森病院三軒目）

法學士　辯護士　値賀連
大連大山通二丁目三十一番地
目下當地左の出張所に居住す
營口永世街第三號ノ二（金城館ノ南隣）